

《平成27年度 子ども家庭部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長 望月 英司

重

…平成27年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み」欄に左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p><仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実> ・保育所、幼稚園の施設・環境整備 公立保育所、幼稚園においては老朽化が進んでおり、耐震、施設改修を実施する必要があります。 また、都市化や核家族化が進む中、子育てに孤立感や不安感をもつ保護者が増え、乳幼児に対する虐待や不適切な養育態度による愛着障害など、子どもの育つ環境には大きな課題が見られています。</p>	<p>・公立保育所、幼稚園について、耐震改修を優先して取り組み、中長期的な視点・計画の下、必要な施設改修を図ります。 ・保育現場で起こる課題解決のために、保育者自身が専門性を高め、質の高い保育や保護者支援の提供を行うように、心理や児童虐待の専門家である保育カウンセラーを活用します。</p>	<p>【取り組み】 草津市立第四保育所の耐震補強・修繕工事に取り組みます。 (事業費 80,458千円) 【成果目標】 平成28年2月完了予定</p> <p>①【取り組み】 就学前教育サポート事業 ①保育カウンセラーを活用した保育コンサルテーション ②保育者のスキルアップ研修 ③保護者の子育て支援 【成果目標】 ①保育者のスキルアップ ②保護者の育児負担の軽減</p>	<p>重</p> <p>【取り組み実績】 草津市立第四保育所の耐震補強・修繕工事を実施しました。 【成果目標実績】 平成28年3月完了</p> <p>①【取り組み実績】 就学前教育サポート事業 ①保育カウンセラーを活用した保育コンサルテーション 保育所 4カ所 計35時間 幼稚園8カ所 計93時間 ②保育者のスキルアップ研修 保育内容研修 4時間×2回 対人援助職セミナー 3時間×2回 ③保護者の子育て支援 子育て講座 2時間×4回 【成果目標実績】 ①保育コンサルテーションでは、個別の観察・面接・助言を継続して行い、助言・提言を取り入れた保育の効果についても再検討を行うことで、PDCAサイクルを形成し、保育者のスキルアップに大きな成果を得ることができました。また、スキルアップ研修を通して、それぞれの立場のスキルアップを図りました。 ②子育て講座を実施することで、育児に対する知識を広げ不安を和らげることができました。また、講師に個別に相談する時間を確保できたことで、悩みを打ち明ける場ができ、育児負担の軽減につながりました。</p>
<p><仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実> ・待機児童の解消 就学前児童の増加と保育需要の増大に対応するため、毎年待機児童対策に取り組んでおり、昨年度には人口の急増に対応するため、待機児童解消対策緊急事業を実施し、私立認可保育所や小規模保育事業の施設整備等の推進による保育定員増を図っています。 平成27年度からは、子ども・子育て支援事業計画に基づき、引き続き待機児童対策に取り組む必要があります。 また、保育士や幼稚園教諭等の不足が顕在化しており、その安定的な確保が求められています。</p>	<p>①・待機児童の解消に向けて、子ども・子育て支援事業計画を中心に、私立認定こども園や認可保育所、小規模保育事業の施設整備を推進するとともに、引き続き保育需要の推計を行い、その結果を踏まえ、必要な保育需要を充足する待機児童対策の検討、実施を行います。 また、保育士等の安定的な確保に向けて、県による広域的な保育士確保策と連携を図りながら、保育士の再就職に向けた研修、処遇改善事業、広報周知等の取り組みを推進します。</p>	<p>【取り組み】 私立認可保育所施設整備事業(2箇所創設)への補助を行います。 (事業費 289,709千円) 幼保連携型認定こども園移行にかかる施設整備(桜ヶ丘保育園)への補助を行います。(事業費 339,903千円) 小規模保育事業施設整備(2箇所創設)への補助を行います。(事業費 42,700千円) ②保育士確保に向けて保育士再就職トライアル研修を実施します。 (事業費 384千円) 【成果目標】 待機児童の解消 民間保育所 2施設創設60人定員、70人定員増(H28.4開設) 認定こども園 1施設認可移行225人定員(H28.4開設) 小規模保育事業 2施設創設 計38人定員(H28.4開設)</p>	<p>重</p> <p>【取り組み実績】 ・矢橋町に私立認可保育所を2施設整備し、合計130人の定員増を実施しました。 ・桜ヶ丘保育園の幼保連携型認定こども園への移行にかかる施設整備補助を実施しました。 ・小規模保育事業施設整備補助を2施設に対して行い、合計38人の定員増を実施しました。 【成果目標実績】 ・琵琶湖くじら保育園創設(定員60人)／H28.3完了 ・さくら坂東保育園創設(定員70人)／H28.4完了 ・さくらがおかこども園(旧桜ヶ丘保育園)／H28.3完了 ・小規模保育施設(あおば南草津保育園・Pingu's English南草津小規模保育施設)／H28.3完了</p>
<p><仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実> ・児童育成クラブの充実 児童育成クラブは、社会情勢の変化や就労家庭の増加などに伴い、放課後における児童の安全・安心な居場所として整備を図り、待機児童対策に取り組めます。平成27年度からは、「子ども・子育て支援事業計画」に基づく、施設の開設が必要となってきます。</p>	<p>放課後における児童の安全、安心な居場所づくりのため、「子ども・子育て支援事業計画」を中心に、受け入れ施設の充実や、公設・民設児童育成クラブの指導員(支援員)の質・サービスの充実を図っていきます。</p>	<p>【取り組み】 (仮称)のびっ子老上第二の開設に向け取り組みます。 (事業費139,445千円) 民設民営児童育成クラブの開設・運営支援 増加が著しい学区に民設児童育成クラブの開設、運営支援を行います。 (H28開設4ヶ所、運営支援7ヶ所) (事業費) 5,456千円 11,120千円(※平成26年度予算明許繰越) ③【成果目標】 待機児童の解消</p> <p>【取り組み】 児童育成クラブの適正な運営や質・サービスの向上に取り組めます。 【成果目標】 指導員交流会 4回開催</p>	<p>重</p> <p>【取り組み実績】 平成28年4月開校の老上西小学校内に「のびっ子老上西」を開設するとともに、待機児童の解消を図るため、保護者の多様なニーズに迅速に対応ができる民設児童育成クラブを3箇所(志津、矢倉、玉川)開設しました。 【成果目標実績】 待機児童数 0人【保留児童数 13人】(平成28年度当初)</p> <p>③【取り組み実績】 児童育成クラブの指導員の質の向上を図るため、県が実施する放課後児童支援員の認定資格研修への参加を促すとともに、指導員の交流会や研修会を開催しました。 【成果目標実績】 指導員交流会 4回開催</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】								
<p>2 <地域における子育て支援の充実> 核家族化やコミュニティの希薄化等により、家庭や地域における子育て機能が低下していることから、子育てに対し不安や負担を抱えている保護者が増加しています。</p>	<p>② 身近なところに子育てを支えてくれる人がいないという家庭が増加し、子育ての孤立化は深刻な問題となっているため、子育て中の親子が交流できる場所や必要な子育て情報が提供できるよう取り組みます。</p>	<p>④ 【取り組み】 保護者の子育て不安を解消し、孤立化を防ぎます。 <子育て支援センターの運営> ・地域子育て支援センター2箇所(みのり・モンチ) (事業費 14,906千円) ・市子育て支援センター (事業費 9,588千円) <つどいの広場の運営> ・まめっこ(大路)、ほけっと(新浜)、くれよん(追分) ・とまっこ(野路) (事業費 16,534千円) <児童館の運営> ・笠縫東児童センター (事業費 9,404千円) 【成果目標】 子育て支援施設の利用者拡大</p>	<p>④ 【取り組み実績】 子育て支援の充実を図るため、子育てサポーターや子育て支援者の育成事業をまちづくり提案事業として実施しました。また、各中学校区に1か所の子育て支援施設をより活用していただけるよう市ホームページや子育て応援サイト「ほかほかタウン」にて周知を図ったことにより、利用者の拡大につながりました。</p> <p>【成果目標実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>子育て支援センター</td> <td>17,735人 (H27 19,188人)</td> </tr> <tr> <td>地域子育て支援センター 2箇所</td> <td>8,496人 (H27 8,730人)</td> </tr> <tr> <td>つどいの広場 4箇所</td> <td>27,249人 (H27 25,066人)</td> </tr> <tr> <td>笠縫東児童センター</td> <td>12,358人 (H27 9,924人)</td> </tr> </table>	子育て支援センター	17,735人 (H27 19,188人)	地域子育て支援センター 2箇所	8,496人 (H27 8,730人)	つどいの広場 4箇所	27,249人 (H27 25,066人)	笠縫東児童センター	12,358人 (H27 9,924人)
子育て支援センター	17,735人 (H27 19,188人)										
地域子育て支援センター 2箇所	8,496人 (H27 8,730人)										
つどいの広場 4箇所	27,249人 (H27 25,066人)										
笠縫東児童センター	12,358人 (H27 9,924人)										
<p>3 <特別な配慮を要する家庭への支援> ・児童虐待防止対策、ひとり親家庭の自立支援 核家族化や都市化、経済状況の変化等により、子どもと子育て家庭を取り巻く状況が変化し、子育てに不安や悩みを抱える家庭が増えています。そうした中、児童虐待相談件数やひとり親家庭の数が、増加傾向にあります。また、子育て家庭の生活の安定(経済的安定)も必要となっています。</p>	<p>(1) 児童虐待の防止と早期発見・早期対応 児童虐待に関し、子どもと家庭への適切な支援を行うため、相談体制の充実や関係機関との連携を図るとともにその防止に努めます。</p>	<p>⑤ 【取り組み】 児童虐待の早期発見、早期対応や虐待予防のため、関係機関との連携、啓発の強化や虐待予防のための講座の開催に取り組みます。(事業費 24,010千円) ・要保護児童対策地域協議会の開催 ・児童虐待防止の啓発および研修の実施 ・CAP研修、CSPを使った子育て講座の実施 【成果目標】 開催回数等の各目標の実行</p>	<p>⑤ 【取り組み実績】 家庭相談員を1名増員し、関係機関と連携し、児童虐待の対応と予防に努めました。 【成果目標実績】 ・要保護児童対策地域協議会を下記のとおり開催しました。 代表者会議 7月と2月に開催 実務者会議 奇数月に年6回実施 個別ケース検討会議 随時126回実施 ・児童虐待防止啓発研修会を開催(11月30日) ・11月20日にJR草津駅、JR南草津駅で街頭啓発を実施 ・CAP研修の実施 幼稚園、保育園の保護者職員等対象 5回 地域団体対象 4回 ・笑顔がいっぱい楽しい子育て講座(連続3回講座)の実施 2回</p>								
<p>3 <特別な配慮を要する家庭への支援> ・障害のある子どもへの支援 身近な地域での支援が必要な子どもたちに対して、通所による療育や相談および保護者の支援が必要です。また、障害の早期発見とともに学齢・成人期にかけて継続した相談支援の体制を整えていくことが求められています。</p>	<p>③ (2) ひとり親家庭等への支援の充実 就労支援や生活支援などにより、ひとり親家庭の生活の安定や自立につなげます。</p> <p>(3) 子育てに伴う経済的負担の軽減 子育て家庭の生活の安定および子どもの健やかな成長に資するため、経済的負担の軽減を図ります。</p>	<p>⑥ 【取り組み】 自立支援員による相談対応や支援制度の利用をすすめます。(事業費 16,127千円) 【成果目標】 ホームフレンド事業派遣家庭12家庭以上</p> <p>⑦ 【取り組み】 児童手当・児童扶養手当等の支給を行います。(事業費) 児童手当 2,501,600千円 児童扶養手当 346,752千円 【成果目標】 対象者 100%支給</p>	<p>⑥ 【取り組み実績】 母子・父子自立支援員による相談対応や制度の利用をすすめました。相談件数 2,639件 【成果目標実績】 ホームフレンド事業 派遣回数 46回 延べ登録家庭:11件(延べ派遣実施家庭:7件) 派遣者と派遣家庭の調整がつかず、派遣できない家庭がありました。</p> <p>⑦ 【取り組み実績】 児童手当・児童扶養手当等の支給を行いました。 ・児童手当 2,475,825千円 ・児童扶養手当 348,632千円 【成果目標実績】 対象者 100%支給</p>								
<p>3 <特別な配慮を要する家庭への支援> ・障害のある子どもへの支援 身近な地域での支援が必要な子どもたちに対して、通所による療育や相談および保護者の支援が必要です。また、障害の早期発見とともに学齢・成人期にかけて継続した相談支援の体制を整えていくことが求められています。</p>	<p>(4) 就学前児童への支援の強化、5歳相談の実施 障害児保育対象児への巡回発達相談に加え保育所等に在籍する子どもに療育的サービスを提供するため、効果的な保育所等訪問支援事業を行う。また、就学前から学齢期へのスムーズな移行を支援するため、満5歳の児童とその保護者の相談を実施します。</p>	<p>⑧ 【取り組み】 障害児保育対象児への巡回発達相談を実施し、また5歳相談を年間を通して実施し、円滑な就学につなぎます。(事業費16,918千円) 【成果目標】 ①関係機関等と連携をとりながら、巡回発達相談を行います。 ②全保育所(園)、幼稚園在園の満5歳の子どもの保護者からの申請により5歳相談を行います。</p>	<p>⑧ 【取り組み実績】 保育所、幼稚園等に在籍する障害児に対して、継続して発達相談を行い、園所のスタッフや保護者に対しても相談支援を行いました。また、5歳相談を実施することで円滑な就学につなげ、場合によっては学校に引継ぎを行いました。 【成果目標実績】 ①巡回発達相談 相談件数 45件 ②5歳相談 前期(4~9月)26人 後期(10~3月)31人 計57人</p>								

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p>【再掲】</p> <p><特別な配慮を要する家庭への支援> ・障害のある子どもへの支援 身近な地域での支援が必要な子どもたちに対して、通所による療育や相談および保護者の支援が必要です。また、障害の早期発見とともに学齢・成人期にかけて継続した相談支援の体制を整えていくことが求められています。</p>	<p>(5)子どもの発達課題に応じたクラス編成を行います。(湖の子園)</p> <p>③ (6)中・高生の青年期から成人期までの支援のためのネットワークづくり 各ケースに対応していくため、高等学校や就労支援機関等との連携を深めます。</p> <p>(7)サービス利用計画の作成 障害児通所支援等のサービスを利用するため、障害児支援利用計画を作成します。関係機関と連携を密にし、継続した相談支援を行います。</p>	<p>⑨ 【取り組み】 湖の子園では、子どもの発達課題に応じたクラス編成を行うことにより、療育指導の強化と子どもの発達支援および保護者の育児支援を充実させます。さらに保育士、児童指導員を3名増員し、定員を50名から60名に増員します。(事業費48,902千円)</p> <p>【成果目標】 子どもの発達課題に応じた効果的な療育の推進</p> <p>⑩ 【取り組み】 増加しつつある中・高生の青年期から成人期相談への対応に取り組みます。(事業費2,798千円)</p> <p>【成果目標】 相談件数110件(平成26年度実績:中学生60件、16歳以上(高校在籍含む)50件)</p> <p>⑪ 【取り組み】 障害児通所支援等のサービスを利用する方に対して障害児支援利用計画を作成します。(事業費2,750千円)</p> <p>【成果目標】 ・利用計画の対象者数 237件 (内訳 児童発達支援 66人 医療型児童発達支援 5人 ・放課後等デイサービス 156人 保育所等訪問支援 10人)</p>	<p>⑨ 【取り組み実績】 定員を50名から60名に、一日利用定員を30名から40名に拡大し、発達課題に応じたクラス編成を行って効果的な療育に取り組みました。</p> <p>【成果目標実績】 早期療育が必要な子どもとその保護者に対して、待機することなく療育につなぐことができました。</p> <p>⑩ 【取り組み実績】 中学、高校生以上の相談に対しても、学校、医療、就労機関などの関係機関と連携しながら取り組みました。</p> <p>【成果目標実績】 相談件数 216件(中学生123件、16歳以上93件)</p> <p>⑪ 【取り組み実績】 新たに社会福祉士を雇用し、障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成等)に取り組み、障害児通所支援等のサービスを適切に利用できるように支援しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・利用計画の対象者数 167件 ・内訳 児童発達支援 64人 医療型児童発達支援 5人 放課後等デイサービス 80人 保育所等訪問支援 18人</p>
<p><幼保一体化の推進> ・将来の児童数減少や就学前施設の適正配置を踏まえながら、保育所における待機児童の発生や幼稚園における定員割れ、3歳児の未就園層に対する幼児教育の提供等の本市の抱える課題を解決するために、子どもの視点に立った質の高い幼児教育と保育の一体的提供(幼保一体化)を推進することが求められています。</p>	<p>④ 「幼保一体化推進計画」に基づき、市民や保護者への広報周知を行いながら、公立モデル園(認定こども園)の開園に向けた準備を進めます。</p>	<p>⑫ 【取り組み】 幼保一体化モデル園ワーキング部会での認定こども園カリキュラム等の実施検討、幼保一体化に向けた研修等の実施、認定こども園園名等の選定(事業費 1,748千円)</p> <p>【成果目標】 モデル園2園の開園((仮称)矢橋認定こども園、(仮称)笠縫東認定こども園)</p> <p>⑬ 【取り組み】 笠縫東幼稚園施設改修工事(事業費 24,130千円) (仮称)草津中央認定こども園施設設計業務(事業費 12,011千円)</p> <p>【成果目標】 平成28年2月完了予定</p>	<p>重</p> <p>⑫ 【取り組み実績】 幼保一体化モデル園ワーキング部会での開園に向けた準備等を進めるとともに、市民や保護者への広報周知を行い、市立モデル園2園を開園しました。</p> <p>【成果目標実績】 モデル園2園の開園 (矢橋ふたばこども園、笠縫東こども園)</p> <p>重</p> <p>⑬ 【取り組み実績】 笠縫東幼稚園施設改修工事を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成28年3月完了</p> <p>【取り組み実績】 (仮称)草津中央認定こども園施設設計業務を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成28年2月完了</p>
<p>⑤ <子ども・子育て支援事業計画の推進> 「子ども・子育て支援事業計画」(H27-H31)において、今後5年間の重点的な取組事項(就学前の教育・保育の充実、家庭・地域の子育て支援、児童虐待防止対策の充実、ひとり親家庭の自立支援の推進、障害のある子どもへの支援の充実、「草津っ子」育み事業)を定めており、目標とする確保方策の達成に向けて、進捗管理を図る必要があります。</p>	<p>⑤ 事業の実施状況および重点的な取組事項の数値目標について進捗管理を行います。 また、心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども、「草津っ子」の育みに向けて、各種事業を推進するとともに、シンポジウムの開催等により、「草津っ子」の普及、啓発を行います。</p>	<p>⑭ 【取り組み】 「子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理等を行います。(事業費1,019千円) ・子ども・子育て会議の開催(年2回) ・「草津っ子」シンポジウムの開催</p> <p>【成果目標】 シンポジウムの開催等による「草津っ子」の普及</p>	<p>⑭ 【取り組み実績】 「子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理等を行うため、子ども・子育て会議を2回開催するとともに、「草津っ子」の普及、啓発を行うシンポジウムを開催しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成27年9月にシンポジウムを開催しました。(参加者 50人)</p>